

苫小牧市男女平等参画情報誌

ふり～む

2012・3月
Vol.16



目次

女性に対する暴力をなくす運動！	2
市長が語る男女平等参画社会	3
平成23年度NWE Cフォーラム参加報告	4
女性の人権講演会 《テーマ》自立援助ホームの子どもたち	5
ハローワークマザーズコーナーの紹介	6
男女平等参画講座・女性のエンパワーメント講座	7
女性センター情報コーナー	8

「女性に対する暴力をなくす運動」

内閣府では、毎年11月12日～11月25日を「女性に対する暴力をなくす運動」の強化週間としています。市では、これに合わせ今年度初めて、男女平等参画社会の形成の大きな阻害要因となっている、DVや性犯罪などの女性に対する暴力をなくす運動の啓発活動を実施いたしました。

平成23年11月16日には市内の大型ショッピングセンターにご協力をいただき、出入り口付近で6団体45名がパープルリボンを胸につけ、標語入りポケットティッシュ1000個を配布し、暴力が絶対にあってはならないことをたくさんの人に呼びかけました。

また、子育て支援課窓口や、女性センター（窓口・トイレ）に、ポケットティッシュを置き、市役所や女性センターにおいても啓発活動を継続しました。

標語入りポケットティッシュ



女性センタートイレに設置



大型ショッピングセンターにて啓発用ティッシュペーパー配布
—苫小牧民報社撮影—



女性の相談窓口

— 1人で悩まずにご相談ください —

	相談機関	電話番号	相談時間
配偶者等からの暴力 (DV)	子育て支援課（1階8番窓口）	32-6369 32-6111（夜間・休日の緊急連絡先は市役所代表番号）	平日8:45～17:15
	道立女性相談援助センター（配偶者暴力相談支援センター）	011-666-9955	平日9:00～17:00 （年末年始を除く）
	胆振総合振興局環境生活課（配偶者暴力相談支援センター）	0143-22-5286	平日9:00～17:00 （年末年始を除く）
	苫小牧警察署	35-0110	
雇用問題・セクハラ等、 職場のトラブル	ウイメンズ結（民間シェルター）	32-0100	平日10:00～16:00 （年末年始を除く）
	苫小牧総合労働相談コーナー 苫小牧市港町1丁目6番15号 苫小牧港湾合同庁舎 苫小牧労働基準監督署 2F	33-7396	平日9:00～16:30 （年末年始を除く）
	北海道労働局雇用均等室 札幌市北区北8条西2丁目1番1号 札幌第1合同庁舎 3F	011-709-2715	平日8:30～17:15 （年末年始を除く）

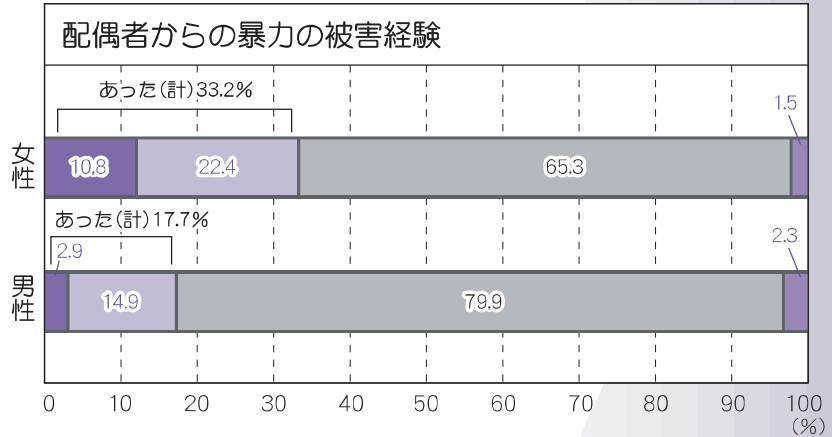
データ Data

女性に対する暴力をめぐる状況

—◎—配偶者からの暴力—◎—

女性の10.8%、男性の2.9%は、これまでに配偶者（事実婚や別居中の夫婦、元配偶者も含む）から身体的暴行、心理的攻撃、性的強要のいずれかを1つでも受けたことが「何度もあった」と答えています。

- 何度もあった
- 1、2度あった
- まったくない
- 無回答



- 備考：1. 内閣府「男女間における暴力に関する調査」（平成20年度）より作成。
 2. 身体的暴力：なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴力を受けた。
 3. 心理的攻撃：人格を否定するような暴言や交友関係を細かく監視するなどの精神的な嫌がらせを受けた、あるいは、あなたもしくはあなたの家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた。
 4. 性的強要：嫌がっているのに性的な行為を強要された。

男女平等参画講座(企業対象)

「市長が語る男女平等参画社会」を開催しました

1月20日、苫小牧男女平等参画推進協議会と苫小牧市との共催で企業対象の男女平等参画講座を開催しました。

【講師】苫小牧市長 岩倉博文

出席者：16の企業等から21名の参加



意見を交換する岩倉市長と参加者

苫小牧男女平等参画推進協議会と苫小牧市は、岩倉市長による企業の経営者や担当者向け男女平等参画講座「市長が語る男女平等参画社会」を初めて開きました。

岩倉市長は、先進国で進む男女平等参画社会の概要や、苫小牧市の進捗状況を解説しながら、苫小牧市男女平等参画推進条例（2007年施行）の事業者への責務について、企業経営者や担当者への理解を求めました。また、「男女平等都市宣言」について、道内第1号を目指して、前向きに検討していることを明らかにしました。

—・— 出席者からの意見 —・—

企業間では男女平等の格差を感じます。中小企業は、女性従業員に十分な育児休暇や出産休暇を与えるのは難しい現状がある。

育児や親の介護の負担が女性に掛かり、退職を余儀なくされている。共稼ぎの男性が家庭生活に参画する実態調査を希望します。

ワークライフバランスが今非常に大きなテーマになっています。女性の人材活用を念頭にワークライフバランスを保つ努力をして、地域に貢献していきたい。

参加報告

独立行政法人 国立女性教育会館(NWEC)主催
平成23年度「男女共同参画のための研究と実践の交流推進フォーラム」

平成23年10月21日(金)～10月23日(日) 報告者：男女平等参画課長 小野 千恵子



女性教育会館講堂

平成23年度NWECフォーラムが男女共同参画社会の形成を目指し、研究や実戦活動を行っている個人・団体等が、全国から約900人参加のもと開催されました。苫小牧からは、苫小牧男女平等参画推進協議会の会員2名と共に、当課職員が初めて参加しましたので、報告いたします。

1日と2日目には57件(全国からの応募50件、会館提供6件、文部科学省提供1件)のワークショップが実施されました。ワークショップの本数は例年と変わらず、内容も充実し参加者の熱気に溢れた3日間でした。

発表されたワークショップの中で、当市でも取組たい情報が入手でき、次年度からの事業に活かせないと持ち帰りました。男女平等参画推進の手法を全国の先進都市に学び、市民へ情報提供をさせて頂くことで、更なる男女平等参画の推進に繋がると感じました。

紹介します

ワークショップの事例

成功する方針決定過程への女性の参画事業(女性リーダーの育て方)

国の第3次男女共同参画基本計画の筆頭に位置づけられている〈政策・方針決定過程への女性の参画〉は、国を挙げて取り組むべき課題となっています。この課題に取り組んだ事例を紹介します。

「審議会」「リーダー養成」などの言葉を入れない、目的を表に出さない等の広報戦略を用いたり、ジェンダーを前面に出さない等の仕掛けをし長期講座を実施したことが成功し、2年間で46名の受講生を生み出し、今回のワークショップをセンター(指定管理者)職員1名と受講終了者6名の計7名で企画・発表を実現させました。参加したメンバーが、この講座で高めたエンパワーメントを基に、あらゆる分野への参画が期待できる有効な取組と感じました。



展示ワークショップの一例(東北地方被災地避難所)



ワークショップの様子

なぜ、男女共同参画は進まないか

発表された事例では、「男女共同参画推進条例」の制定、男女共同参画プランの策定、男女参画推進委員会の設置、男女共同参画センターの開設など男女共同参画の推進体制はかなり進んだ中で推し進められています。テーマは、各町内会の運営を担う役員の男女共同参画についてでしたが、地域において男女共同参画が進まない問題点がありました。

- ・自治会のマンネリ化、無関心
- ・男性の理解がない
- ・役員の交代がない…考えが変わらない
- ・女性自身が役員を引き受けない…一歩下がっているほうが楽
- ・女性は、世帯主の代理として参加
- ・女性は、専門部までの登用…会長等は男性

参加者からは進まない理由がどの地域も同じで、全国共通の課題となっていることが発表されました。地域づくりの中に市民意識と行政の施策をどう活かすかまた、意識とシステムの乖離をどう埋めていくかが課題であると感じました。

シンポジウム 「災害・震災復興と地域づくりー男女共同参画社会への展望」

最終日のシンポジウムは、「災害・震災復興と地域づくりー男女共同参画社会への展望」をテーマに3人のシンポジストにより、行政、NPO、ジャーナリズムのそれぞれの立場から、問題提起がなされ、参加者からも活発に質問や意見が寄せられ、男女共同参画の視点に立った地域づくりに関する議論を中心に、充実したシンポジウムとなりました。

	山形県知事 吉村 美栄子氏
シンポジスト	コミュニティ・サポートセンター 神戸理事長 中村 順子氏 河北新報社論設委員長 鈴木 素雄氏
コーディネーター	立教大学教授 萩原 なつ子氏





特定非営利活動法人(NPO法人) **ウィメンズ結**



— 女性に対する暴力をなくすために —

2003年に民間団体ウィメンズ・サポート“結”としてスタート、女性と子どもへの暴力、差別をなくし女性と子どもの人権を守るための活動を行い、男女が平等に生きることができる社会の実現に寄与することを目的として、2010年11月NPO法人ウィメンズ結を設立し、苫小牧でDV被害女性の自立支援活動を行っている団体です。

— DV(ドメスティックバイオレンス)とは? —

夫や恋人など親密な関係にある(あった)パートナーから受ける身体的・精神的・性的等の暴力のこと。



主な活動内容

- DVや性暴力などを受けた女性の悩みの相談
- 緊急一時保護施設(駆け込みシェルター)の運営
- 暴力を受けた女性や子どもの自立・回復をサポートするための事業
- 市民に対する予防・啓発活動(講演会・講座などの開催)
- 若者への予防活動・デートDV出前講座の実施

— 駆け込みシェルターとは? —

DVから逃げ込んでくる女性や子ども達の生命、身体の安全を確保することが何よりも大切です。心身の傷を癒し自立できるまでの当面の生活の場を提供し、安心して自立できるまで必要なサポートをします。

安全確保のためシェルターの所在地は絶対の秘密です。

今後の活動予定としては、相談電話及び面談等の相談業務、DV被害女性への就労に向けた研修会の実施などの自立支援や一時保護業務などサポート業務の充実、市と共催で人権講演会の実施などによる市民への啓発活動を地道に行っていくとのことです。



特定非営利活動法人 **ウィメンズ 結**

相談受付電話(秘密厳守) **0144-32-0100**

平日 10:00~16:00(年末年始、祝日を除く)

<http://blog.goo.ne.jp/supportyui>

趣旨に賛同して下さる皆様のご支援により運営されています。詳しくは上のホームページや女性センターに置いてあるパンフレットをご覧ください。

もしも...

もしもあなたの知り合いに暴力を受けている女性がいるら、ひとりで悩まずにこちらに電話するように伝えてください。

パープルリボンは女性に対する暴力根絶運動のシンボルマークです



— 女性の人権講演会を開催 —

— 自立援助ホームの子どもたち —

～虐待やDV家庭で育った子どもたちのその後と社会の責任～

平成24年2月18日(土)NPO法人ウィメンズ結と苫小牧市(男女平等参画課)の共催で、自立援助ホームシーズ南平岸ホーム長 長谷あゆみ氏をお迎えし、DV家庭で育った子どもや児童虐待などの被害に遭った子どもたちについて講演いただきました。

自立援助ホームの入所対象となる子どもたちは、概ね15歳~20歳で、児童福祉施設などの出身者や家庭の養育に恵まれない等、困難な状況におかれている子どもたちです。ホーム長の長谷さんは女性を支援する同ホームの体験を基に、虐待などで育った子どもたちの傾向と心に及ぼす影響についてお話くださいました。虐待やDV家庭で育った子どもは、自尊心が育たない。学校での暴力行為や非行などの問題行動を取る。低年齢で出産を経験するため、育児に悩むことが多く精神的に不安定になるので、ホームで行う心のケアが大切である。

また、子育てを家庭の責任だけにせず、国や地域社会全体でこの問題に目を向けて欲しいと強調されていました。講演後は質疑応答を行い、受講者37名から活発な質問や意見がでていました。



子育てをしながら「働きたい」パパ・ママを応援するコーナーが
ハローワークにあるのをご存じでしたか？

マザーズコーナーは、家庭と仕事の両立をサポートします！

子育てをしながら就職を希望している方に対して、個々の希望やニーズに応じたきめ細かな就職支援を行うマザーズハローワークサービスの拠点では、就職を希望される方のニーズを踏まえた担当者制によるきめ細かなマッチング、子ども連れの方が来所・相談しやすい環境・施設の整備、子育て女性等を応援する関係機関との連携による保育関連情報の収集・提供、希望やニーズを踏まえた求人確保、就職支援セミナー等の実施など、総合的かつ一貫した就職支援を行っています。

再就職に向けて準備するための講座として、このほど女性センターを会場に、苫小牧市共催でパソコン、再就職準備(ビジネスマナー)、メイクアップの各講座が開催されました。

マザーズPCセミナー

- ① Windowsの基本操作
- ② 文章ソフト(Word)の
基礎的な操作講習
- ③ 表計算ソフト(Excel)の
基礎的な操作講習

平成23年
11月7日～11月11日

平成24年
2月13日～2月17日

開催



メイクアップセミナー

第一印象を大切にするためのスキンケア、ポイントメイク、内面からの美しさをテーマに2時間の講演。

～メイクアップで自信もアップ～
ちょっとしたメイクの工夫や心の持ち方で、第一印象を良くすることが出来ます。面接や新しい職場で自分の良いところが伝わるよう準備を始めましょう。

平成23年 12月7日

平成24年 3月7日

開催

マザーズ再就職準備セミナー

- ・あなたの「印象」はここで決まる。
 - ・「聴く」からはじまるコミュニケーション
 - ・「心」をつかむ電話対応。
 - ・「応募書類」の作成と「面接」のポイント。
- ビジネスマナー(第一印象、電話対応、応募書類と面接)をテーマに2時間の講演。

平成23年 11月18日

平成24年 2月24日

開催

参加者の声

- ★質問しやすく、わかりやすかったです。
- ★子どもの託児を利用してきて便利ですごく助かりました。
- ★先生のおかげで、ハッピーでキラキラしたオーラを分けてもらえました。
- ★外も内も輝かせて人を幸せに…先生のような人になりたいと思います。

《お問い合わせ》

ワークプラザとまごまい マザーズコーナー

苫小牧市表町6丁目2番1号
苫小牧駅前プラザegao 6階
(JR苫小牧駅南口から徒歩2分)
電話 0144-35-8689 FAX 0144-35-9880
ご利用時間 平日/9:00～17:00

女性団体の学習活動を応援します ご利用ください

苫小牧市では、男女平等参画社会の形成が図られることを目的に、女性団体等が自ら企画した課題や目的を持った学習会や講演会を援助する「女性団体学習活動援助事業」を行っておりますのでご利用ください。

● **対象者** 学習活動の場が市内で、市民で構成される女性団体等

● **対象活動** ・女性の能力向上、社会参加に関すること・育児、介護、健康に関すること
・生活環境に関すること・職業生活に関すること・その他男女平等参画に関すること

● ※営利を目的とするもの・学校、企業、事業所が行う活動・趣味的な活動及び定期的に行うサークル活動・宗教、政治的宣伝の意図を有するもの・対象の学習活動に対して市から他の補助金を受けて活動を行うものは対象外です。

● **援助経費** 講師の謝礼(市の予算の範囲内で援助)

● **申請** 所定の用紙で実施の20日前まで

● **決定** 学習活動の目的や内容等を審査して援助を決定し、通知します。

● …詳細は、市男女平等参画課(電話32-3544)にお気軽にお問い合わせください。…

女性のエンパワーメント講座
 ～ディベート(議論を論理的に進める)の技法を学ぼう～
 平成24年2月6日(月)、13日(月)、20日(月)開催

S D I 札幌ディベート研究所代表、(株)アムリプラザ取締役の岡山洋一氏を講師にお迎えし、自分の意見、主張を論理的に組立て発言する能力と、冷静に相手の意見を聴き分析できる能力が身に付くディベート技法を学ぶ講座を開催しました。

ディベートの構造や目的、論理的に議論するために大事なことなどを学び、最終日には肯定側と否定側、審判の3つの役割に分かれての「試合」を体験しました。



男女平等参画講座「地域防災講座」
 テーマ：～女性の視点から見た防災を考える～
 平成23年11月8日(金)開催

災害救援ネットワーク北海道代表山口幸雄氏と山口由里氏を講師にお迎えし、東日本大震災の被災地における、乳幼児・高齢者・女性の実情に視点を当て、普段からできること、心がけておきたい防災意識の大切さを学ぶ講座を開催しました。山口代表は、宮城県南三陸町で長期滞在中に支援に当たった様子や津波からの生還者の具体的事例を挙げてのお話をしてくださりました。



また、由里さんからは、女性の視点から被災地の状況を説明。非常時に必要な物資を家庭ごとに準備することが大切と訴えていました。受講者(23名)の皆さんは、講話を熱心に聞き入っていました。

男女平等参画講座「女性のための健康講座」
 テーマ：～心のケアと更年期障害～
 平成23年11月25日(金)開催

医療法人こぶし 植苗病院 医師 瀧澤紫織氏をお迎えし、ストレスとうまく付き合う方法や女性特有の症状について講演いただきました。更年期はストレスをためすぎないこと、趣味や自分のための時間などをつくることなど、



更年期は自分の生活習慣を見直すチャンスであることを説明され、受講者(19名)の皆さんからは、更年期障害に対する不安が少なくなり安心できたとの声が多く聞かれました。

出前講座をご利用ください

出前講座は豊かな暮らしと住みよい街づくりをめざして、市民の皆さんの学習会等のお手伝いをするため学校や職場、グループでの学習会に市職員を派遣します。

- 対象** 市内に在住・勤務・在学している5名以上の団体やグループ
- 申込み方法** 学習会などを開催する1ヶ月前までに、男女平等参画課に直接申し込みください。
- 料金** 無料
- 内容** 「男女平等参画社会」の推進
 職場、学校、地域、家庭で、男女がそれぞれの個性と能力を十分発揮できる社会、男女平等参画社会の実現に向けて、苫小牧市の男女平等参画推進条例や計画等の現状についてご説明します。

※平成24年度「出前講座メニュー」は4月1日発行の生涯学習だよりに掲載

女性センター おすすめ図書を紹介

ママのための防災ハンドブック
 岡部朋子/学研パブリッシング
 ママ目線で防災を考えたいハンドブックです。初めての避難袋づくりから進めてみませんか。

ケアの社会学
 上野千鶴子/太田出版
 超高齢化社会における共助の思想と実践とは何か?介護現場における「当事者主権」とは何かを明らかにする。

人生がときめく片付けの魔法
 近藤麻理恵/サンマーク出版
 リバウンド率ゼロ。一度覚えれば、二度と散らからない「ごんまり流」ときめき整理収納法!

体脂肪計タニタの社員食堂
 タニタ/大和書房
 社員も続々ダイエット成功。最優秀な社員は21kg減。人気社員食堂の定番レシピ31日分。

「折れない心」をつくるたった1つの習慣
 榎西聡/青春出版
 折れそうなきどどう考えるかは、性格でなく「選択」です。心の中心「へこたれない自分」を呼び覚ますヒント。

働く女性のメンタルヘルス
 大槻久美子/かもがわ出版
 働きたいという女性たちに「メンタルヘルス対策」を優しく解きあかしたのがこの本です。

女性センターでは図書・ビデオの貸出しを行っています。

★貸出時間 / 月曜～金曜の9時～17時(祝日・年末年始除く) ★貸出図書 / 何冊でも2週間 ★ビデオ貸出 / 2巻まで1週間

女性センター情報コーナー



女性センター講座 受講者を募集!



曜日	講座名	講師	期間	回数	時間	定員	受講料・教材費等(円)
月	初心者のための陶芸 (食器など日用品を作る)	松橋 克己	5月14日～7月2日 (6/18を除く)	7	10:00～12:00	16	受 2,380 / 教 3,300
	美味しい旬の家庭料理 (旬の食材で体に良い料理を作る)	平山 あつ子	5月14日～6月4日	4	10:00～12:00	25	受 1,000 / 教 2,500
	すきになる野菜ソムリエの栄養料理 (料理しながら野菜の魅力を学ぶ)	佐藤 直子 助手 1名	6月18日～7月9日	4	10:00～12:00	25	受 1,520 / 教 2,500
火	初心者のためのパッチワーク (ボタンで飾るタウンバッグを作る)	林 由美子	5月8日～6月26日	8	10:00～12:00	20	受 2,000 / 教 2,000
	楽しく自然に身につく韓国語 (基本を楽しく学びませんか)	久永 照子	5月8日～7月10日	10	18:30～20:30	16	受 3,400 / 教 1,995
水	英会話やってみたい人集合～!! (基礎から楽しく英会話)	柿崎 千秋	5月9日～7月11日	10	10:00～12:00	16	受 3,400 / 教 1,000
	貴方も着物美人に! (カジュアル&フォーマル着つけ)	藤島 慧子 助手 1名	5月9日～6月27日	8	18:30～20:30	15	受 4,080 / 教 1,000
	楽しいパンづくり	小野 雅美 助手 1名	5月16日～7月4日	8	9:30～12:00	30	受 3,800 / 教 2,800
木	男のキッチン：基礎編	小野 雅美 助手 1名	5月17日～7月5日	8	18:30～20:30	20	受 3,040 / 教 3,500
金	うきうき・ヨガ	成瀬 あけみ	5月11日～6月29日	8	10:00～12:00	20	受 2,000 / 教 500

※詳しくは24年4月1日発行の「生涯学習だより」をご覧ください。皆様の参加をお待ちしています。

女性センター利用案内

- 所在地：苫小牧市若草町3丁目3番8号
ふれあい3・3(市民活動センター)内
- TEL：32-3544

開館時間 9:00～21:00 休館日 年末年始

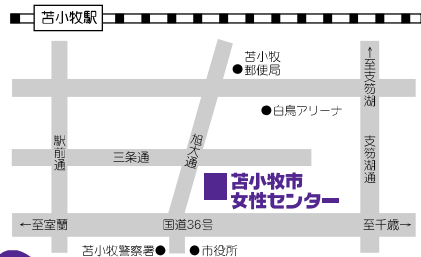
利用対象 市内に在住・勤務する15歳以上の女性、
学習グループなど

利用申込 利用日の3ヶ月前の月初日から受付
(ただし周知期間が必要な会合等は6ヶ月前から)

受付期間 月～金曜日の8:45～17:15 (祝日・年末年始を除く)

使用料の区分	午前9時～12時	午後13時～17時	夜間18時～21時	1日9時～21時
料理実習室	1,100円	1,200円	1,300円	3,050円
講習室A	900円	1,000円	1,100円	2,550円
# 2区分1室使用の場合	450円	500円	550円	1,270円
講習室B、美術工芸室、交流学習室	900円	1,000円	1,100円	2,550円
茶室、音楽室、陶芸室、研修室	800円	900円	1,000円	2,300円
和室、プレイルーム	400円	450円	500円	1,150円

※上記のほか、設備・備品使用料及び冬期間暖房料がかかります。
入場料を徴収する場合は上記料金の2倍。



図書資料室は
どなたでも
自由にご利用
ください

〈月～金曜日〉
9:00～17:00
(祝日・年末年始を除く)



編集後記

東日本大震災・原発事故から1年が経過しました。残念なことですが復興には長い年月が予想されます。一人ひとり何が出来るか息の長い支援を心から願うものです。

皆様お待たせ致しました、5月から女性センター前期講座が始まります。初心者の方も安心して受講できるコースとなっています。詳細は、「生涯学習だより第41号」2012.4.1発行(全戸配布)をご覧くださいと思います。皆様のお越しを心からお待ちしております!



○発行日：平成24年3月 ○発行：苫小牧市

[企画・編集] 市民生活部男女平等参画課

北海道苫小牧市若草町3丁目3番8号
ふれあい3・3(苫小牧市民活動センター)4階

TEL 0144-32-3544 FAX 0144-37-2223

E-メール: danjobyodo@city.tomakomai.hokkaido.jp

ホームページ: <http://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/danjobyodo/>

